



11月・12月行事日程一覧

11月7日(土)【ぶら探訪35】(要申込)

「塩田と下駄の町・松永を歩く」

11月15日(日)【徒歩例会】(要申込)

「太平記と新市」

11月22日(日)【バス例会】(要申込)

「秋の古墳めぐり 出雲の王墓を訪ねて」

11月28日(土)【分布調査】(要申込)

「中世石造物調査 Part 2-2 (神村町)」

11月29日(日)【測量調査】(要申込)

「山手銀山城測量調査8」

12月6日(日)【バス例会】(要申込)

「天領でさかえた上下町を歩く」

12月12日(土)【年末恒例・特別講演会】

「尾道石工と福山の石造物」

12月12日(土)【年末恒例】(要申込)

「望年会 in お湯殿」

12月13日(日)【測量調査】(要申込)

「山手銀山城測量調査9」

12月26日(土)【分布調査】(要申込)

「中世石造物調査 Part 2-3 (新市町)」

11月14日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」

11月21日(土)【中世史部会】「中世を読む」

11月27日(金)【古文書講座】「古文書入門」

11月28日(土)【古代史部会】「古墳講座」

12月12日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」

12月19日(土)【中世史部会】「中世を読む」

12月20日(日)【古文書講座】「古文書入門」

◎ 11月の「近世福山を読む」は場所が変更となっております。福山文学館(美術館北方)です。ご注意ください。駐車場は文学館東隣のスペースをご利用ください。

◎ 12月の「古文書入門」は、日時が変更となっております。ご注意ください。終了後に忘年会ランチを開催予定。

事務局便り

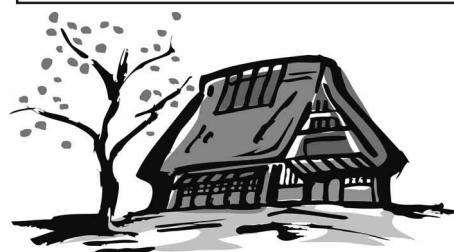
◇催しも12月は年末バージョンに突入です。いつもと違う場合がありますのでご注意ください。

2015(平成27)

行事案内
11月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。

(会則第1章第2条より)



行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

◎公式サイトの参加申込フォーム
「<http://bingo-history.net>」

◎事務局へメール
「info@bingo-history.net」

◎田口会長宅へ電話
[084-953-6157]

〔備陽史探訪の会事務局〕

〒720-0824

広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>

11月15日(日)

徒歩例会

太平記と新市

要
申込

【集 合】 午前9時00分
JR福塩線 新市駅前 ※雨天中止
(福山駅からはJR福山駅発8時17分発乗車、320円)

【参加費】 300円(会員) 500円(一般)

【募集数】 50名

【講 師】 大場 和弘(中世史部会幹事)

【見学地】

亀寿山・安養寺・中興寺・桜山城跡・吉備津神社

【その他】

※お弁当・飲み物持参してください。

(会報で記載もれがありましたが、お弁当を持参してください。買われる場合は福山駅などであらかじめ買ってきてください。)

※歩きやすい服装・靴でご参加ください。

※解散は午後2時半頃に吉備津神社。

11月7日(土)

ぶら探訪 35

塩田と下駄の町 松永を歩く

要
申込

塩と下駄で栄えた町松永。今はそのどちらも産業としては無くなってしまいましたが、往時を偲ばれるものはあちこちに見られます。松永を歩きながらその痕跡・遺跡を辿って行きます

【集 合】 午前9時30分

松永駅南口 ※雨天決行

(福山駅からはJR福山駅発9時6分発乗車、240円)

【参加費】 100円(会員) 300円(一般)

【募集数】 40名

【講 師】 河本 正二・伊達 邦子(近世近代史部会幹事)

【見学地】

松永駅南口周辺、緑地帯モニュメント、はきもの資料館、延屋橋跡周辺、湯谷屋橋、上之町井戸、本庄神社、承天寺、承天寺墓地、入川跡、元松永塩商社建物

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

※交通量の多い町の中なので安全に気をつけて歩いて下さい。

※はきもの資料館は無料の歴史館を見学します。

※解散は11時半頃の予定です。

の平地地を中
心にして、周囲に
帯曲輪の痕跡と
考えられる細長
い平坦地と腰曲
輪、わずかな石積
みが確認出来る。
但し、一般的な山
城に見られる、土
塁・堀切、明確な
切岸は確認出来
ない。



南から見た蔵王山

福山市街地の北東に聳える蔵王
山もまた戦国時代には城塞として
利用された山である。
蔵王山の山塊は大きく三つの峯
に分かれる。一番北の最高峰を蔵
王が峰、その南の「蔵王憩いの森」
として整備されている峯を阿弥陀
が峰、そして一番南の岩山を地王
が峰という。山城として利用され
たのは、最高峰の蔵王が峰、いわ
ゆる蔵王山である。

蔵王山に城があったことを知っ
たのは、少年時代、母方の祖父に
連れられて、この山に登ったとき
である。母の実家は千田にあり、
その家の庭から蔵王山が正面に見
え、千田富士と呼ばれるほど、そ
の姿は美しかった。

祖父は千田村の最後の村会議長
だった人で、千田の郷土史に詳し
かった。千田には宇治山に宇治入
道が居り、蔵王には平賀隆宗と
いう武将が居城したと話してくれ
た。平賀隆宗は実在の人物で、安
芸高屋の領主。天文年間の神辺合
戦で山名理興と戦った人物として
知られる。

隆宗が蔵王山に城を築いた理由
は、山頂に立つてみると良く分か
る。東北を望むと、指
呼の間に神辺黄葉山城
の本丸を望むことが出
来る。隆宗は、ここに
軍兵を置き、神辺城内
の動静を探らせたに違
いない。そして、合戦
の終了と共に放棄され
た。これが、加工の度
合いが低い理由であろ
う。

新備後城記

福山市
千田町

蔵王山城

その4

11 月 22 日(日)

バス例会

祝・尾道松江線
全線開通企画
最終回!

要
申込

秋の古墳めぐり 出雲の王墓を訪ねて

弥生時代中期、中国山地で誕生した^{よすみとつしゅうつがたふんきゅうぼ}四隅突出型墳丘墓と呼ばれる墳丘を持つ墓が現われ、後期に山陰、特に出雲で王墓として完成します。やがて古墳時代後期には巨大な横穴式石室に石棺を持つ古墳が複数造られていきます。まさに出雲の王墓が集まるこの地を見学して実像に迫りたいと思います。

【集 合】 午前 7 時 50 分
福山駅北口観光バス乗り場※雨天決行

【参加費】 4,000 円 (会員) 4,500 円 (一般)

【募集数】 44 名

【講 師】 安原 誉佳 (古代史部会副会長)

【その他】

※弁当・飲み物は持参してください。

※歩きやすい服装でご参加ください。

※午後 6 時 30 分頃帰着予定。

バス例会のキャンセルについて

3 日前のキャンセルはキャンセル料は不要ですが、3 日から 2 日前のキャンセルは参加費の半額、当日のキャンセルは参加費の全額を申し受けます。

【主な見学地】

神原神社古墳

…方墳で竪穴式石室を主体部に持つ。移築石室。景初 3 年銘の三角縁神獣鏡 (国重文) 等が出土。

西谷墳墓群

…27 基からなる墳丘墓で、内 6 基が四隅突出型墳丘墓。史跡公園として整備されている。

出雲弥生の森博物館

…西谷墳墓群の出土品の展示のほか、市内の遺跡も紹介。

今市大念寺古墳

…全長約 92 m の前方後円墳で出雲市最大規模。全長 12.8 m の横穴式石室に巨大な家形石棺が残る。

上塩冶築山古墳

…直径 46 m の大型円墳。全長 14.6 m の横穴式石室は島根県最大。玄室内に 2 個の家形石棺が残る。

上塩冶地藏山古墳

…墳形や規模は不明。全長約 8 m の横穴式石室をもつ。

宝塚古墳

…墳形や規模は不明。全長約 7 m 以上の横穴式石室をもつ。

11 月 29 日(日)

測量調査

山手銀山城測量調査 8

山手銀山城の測量調査が始まります。測量してみたい方、見学だけの方、初めてのの方の参加も歓迎です!

【集 合】 午前 9 時
里山広場 (弘法の水の南側)

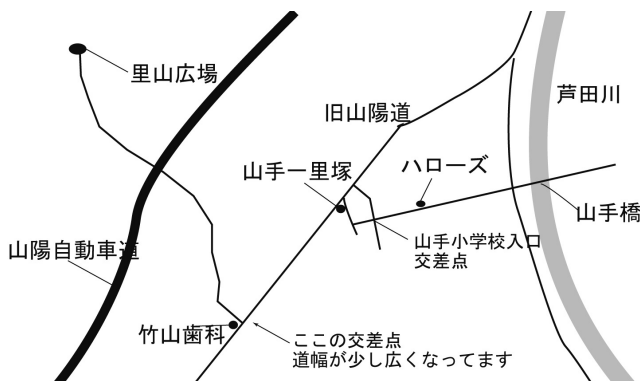
要
申込

【その他】

※午後 4 時頃解散予定。

※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。

※雨天の場合は中止します。



11 月 28 日(土)

分布調査

中世石造物調査 Part2-2

再開の第二回目は、神村町の北西部を調査します。事前の神村町における所在確認や調査カード作成をお願いします。

【集 合】 午後 1 時 30 分
神村公民館 駐車場
(福山市神村町 3 2 5 7 - 3)

要
申込

【その他】

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。

※なお、12 月 26 日 (土) は新市町で実施予定。



備後歴史研究会新聞

第4号

創立35周年の祝賀会

大盛況でした！

去る9月26日、創立35周年記念の

歴史講演会と祝賀会が開催されました。祝賀会の会場が大きくて参加者が少なかつたらどうしよう…とドキドキでしたが、当日は新聞記者の方も取材に来られるなど、大盛況でした。

詳しい報告は次号の会報にて発表します！あわせて取材記事も載せちゃいます！

ここでひと足先に、ちよびつと会報には載つけられない(?)写真でご紹介。

それから、当日遠方より参加された末森清司さんからお手紙を頂戴しましたので、ここに紹介させていただきます。次回40周年記念にも是非お越しく下さいませ。今回参加できなかった方も5年後にお会いしましょうね。

三十五周年に感激

末森 清司

備陽史探訪の会、三十五周年記念式典祝賀会に出席出来た事、喜んでおります。

この式典の開催・準備・手配をして戴きました田口会長・役員・関係者の皆様様に心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

古くからの仲間、日頃は全く顔を合せた事のない会員の皆様方にお会い出来、挨拶と一言お話が出来ました事は何よりも嬉しかったです。

私が入会して三十五年近く一会員として名を連ねる事が出来たのは会員の方々の暖かいご支援があったと深く感謝しております。

同時に体調がすぐれず参加出来なかつた人の一日も早い回復を願

い、亡くなられた故人の冥福を祈っております。

昨年喜寿を迎えて今も山城探訪に情熱をもつて過ごしておりますが、探訪して見学した城郭は千を優に超えました。次の四十周年主

席に向けて一日一日を大切に山城探訪で健康の維持と癌予防に努めて過ごしております。



アルセの5F大ホールでの祝賀会。

下見の時は広すぎると焦ってしまいましたが、当日はぎっちりと、人気も熱気もムンムンと。



来賓対応も万全の布陣で！中央の強面スキンヘッドさんは新聞記者さんです(笑)

備陽史探訪の会創立35周年記



終盤に駆けつけてくださった小林ふみあき代議士からも祝辞を！各会員さんもツーショット記念写真を撮ってもらったりで大盛り上がり☆

各部会紹介もありました♪



古代史部会の重鎮、網本部長登場～！いつも通りの飄々とした…あ、いえ、堂々とした説明ぶりでした。



中世史部会のアニキ！登場☆頼りになります中西アニキ！左にいるのは杉本若頭でしょうか？えっ！？祝賀会の一場面ですっから…。



舞台上から突然の大音響が！びっくりぼんした人もいたのでは？地声も大きい高木近世近代史部会長の熱血説明ぶりでした！

今回は賞品あります！

Coleman のペットボトルウエストホルダーです。

ペットボトルとペン・小銭ポケット付きです。

回答を事務局宛にハガキかメールで

11月16日までにお寄せください。

メールの場合は件名に「びんご歴史クイズ15」と書いてください。



びんご歴史クイズ 15

- ① 三角縁神獣鏡が出土した古墳は、次の内どれでしょう？
イ) 二子塚古墳 ロ) 潮崎山古墳 ハ) イコーカ山古墳 ニ) 北塚古墳
- ② 次の内、備後の国人でないのは？
イ) 宮氏 ロ) 杉原氏 ハ) 三吉氏 ニ) 三村氏
- ③ 次の内、備後を領有したことの無い大名は誰でしょう？
イ) 浅野氏 ロ) 赤松氏 ハ) 奥平氏 ニ) 松平氏
- ④ 大正時代に敷設された福山の近代水道の水源地になった池は？
イ) 服部大池 ロ) 春日池 ハ) 長和大池 ニ) 論田池
- ⑤ 江戸時代「鬼より怖い」と言われたのは？
イ) 石見銀山猫いらず ロ) 備後砂 ハ) 上下銀 ニ) 鞆酢

※今回の出題は会長さんから。賞品付きです☆抽選で1名様に！若干すぎてすいません。

12月6日(日)

バス例会

要
申込

天領でさかえた上下町を歩く

府中市上下町は元禄13年に代官所が置かれ、享保2年には大森代官所の出張陣屋となり、また大森銀山から続く銀山街道の宿場町としてこの地方の政治経済の中心地として栄えました。かつて賑わった街道筋には当時の繁栄をしのばせる豪商の家屋が建ち並んでいます。師走の一日、天領の町並みを歩いてみませんか。



【集 合】 午前7時40分
福山駅北口観光バス乗り場※雨天決行

【参加費】 3,300 円(会員) 3,800 円(一般)

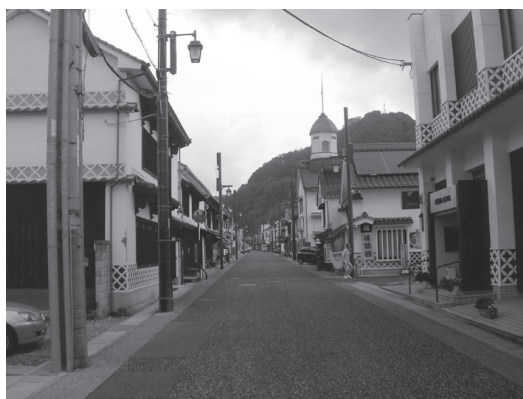
【募集数】 43 名

【講 師】 種本 実(近世近代史部会)

【その他】

※弁当・飲み物は持参してください。歩きやすい服装でご参加ください。

※午後5時頃に福山駅北口帰着予定。



【主な見学地】

○専教寺

光照寺開祖の明光上人の弟子が開山した古刹。長州戦争の際に福山藩主の阿部正方が当山を本陣とした。「阿部主計頭宿」の板看板、正方の乗馬の「馬繋ぎの松」や芭蕉の句碑がある。この地方の俳諧の拠点となった寺でもある。

○翁座

大正時代末期に地元の人々により、京都の南座をモデルに建てられた本格的な劇場。かつて長谷川一夫、高田浩吉や大友柳太郎、平幹二郎も舞台上に登場した。回り舞台や擬宝珠高覧がついた二階の座敷の手摺など、目を見張る細工が施されている。

○旧田邊邸

幕府の公金を扱う「掛屋」を営んでいた豪商の屋敷。酒蔵から店頭まで川を渡って酒を運んでいたトロッコのレールが残っている。

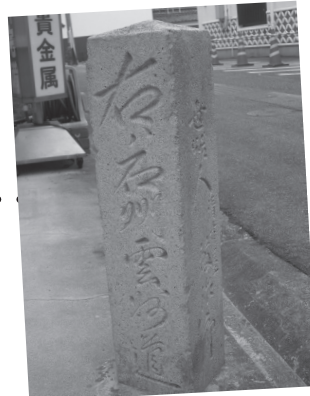
○上下歴史文化資料館

明治の文豪・田山花袋が書いた小説「蒲団」のモデルとなった岡田美知代の生家。明治の大邸宅は資料館になり、上下町の歴史と岡田家の人々を詳しく紹介している。

○真野資料館・末広酒蔵資料館・重森本店酒蔵資料館

美術工芸品、贅を尽くした素封家の調度品、武器、人形などその収集品の質と数々に驚く。

○その他、安福寺(矢野)の石造物、中津藩の代官所跡(神石高原町)などを訪ねます。



バス例会のキャンセルについて

3日前のキャンセルはキャンセル料は不要ですが、3日から2日前のキャンセルは参加費の半額、当日のキャンセルは参加費の全額を申し受けます。

12月12日(土)

年末恒例

特別講演会

【日時】 12月12日(土) 午後2時～
【場所】 福山城「お湯殿」(福山城公園内)
【講師】 西井 亨 氏(尾道市文化振興文化財係学芸員)

『尾道石工と福山の石造物』

【会費】 無料

【募集人数】 50人程度



※事前申込不要。直接会場で受付いたします。
※会場の収容人数の関係で先着順とさせていただきます、定員になり次第
受付終了とさせていただきますこととさせていただきます。あらかじめご了承ください。

望年会

講演終了後、講師を囲んで懇親会(望年会)を開催します。

要
申込

【日時】 12月12日(土) ※特別講演会終了後(午後4時30分頃～予定)
【場所】 福山城「お湯殿」(福山城公園内)
【会費】 2,000円(飲み物付)
【申込】 12月9日(水)までに申込してください。

※準備の関係で当日申込はお受けできません。
※講演会のみのご参加の方は申込み不要です。



創立 35 周年記念事業

『中世石造物調査報告』 頒布中!

1冊 1,000円

広島県立博物館(ふくやま草戸千軒ミュージアム)のミュージアムショップにて販売中!

※会員様には500円でお分けしております。
事務局へ申し込んでください。
会の行事等がある時に販売します。
郵送の場合、郵送料別途300円が必要です。
500円+300円を現金書留で事務局へ。
ネットから申し込む場合は
会員ですと、ひとこと添えてください。

情報BOX

「戦国・安芸高田の山城」

期間:平成27年10月31日(土)～12月13日(日)
場所:安芸高田市歴史民俗博物館
入館料:大人300円、小中高校生150円

【関連行事】「山城を語るシンポジウム」

平成11月23日(月・祝)
安芸高田市民文化センター・大ホール(入場無料・申込不要)
報告「安芸高田、お城拝見!」(秋本哲治)/基調講演「郡山城の実像を探る」(中井均)/パネルディスカッション「安芸高田の山城を語る」(中井均・尾崎光伸・吉野健志・秋本哲治)

西部市民大学 特別公開講座「鞆の歴史マンガラ」

「安国寺恵瓊と備後の武将」(田口義之)

日時:平成27年11月24日(火)午後1時30分～3時

「朝鮮通信使が見た鞆の浦」(戸田和吉)

日時:平成27年12月11日(金)午後1時30分～3時

場所:両日とも西部市民センター

料金:500円(2回分)

古代史部会	中世史部会	近世・近代史部会
「古墳講座」(第365回) ◆11月28日(第4土) 午後7時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 山口哲晶(副会長) 【内容】「府中の古墳について」 ※資料代 100 円が必要です。	「中世を読む」(第335回) ◆11月21日(第3土) 午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 田口義之(会長) 【内容】「明王院について」 ◆12月19日(第3土) 午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 藤井保夫(副会長) 【内容】「最後の将軍足利義昭について」 ※資料代 100 円 が必要です。	「近世福山を読む」(第33回) ◆11月14日(第2土) 午前9時45分 ◆場所 ふくやま文学館 ※市民参画センターではありません。 ※市民交流館でもありません。 ※駐車場は文学館東隣の公園空地。 【第一部】 ◆講師 種本実(当部会幹事) ◆内容「12月バス例会「上下町を訪ねて」の事前学習会」 【第二部】 ◆講師 高木康彦(当部会長) ◆内容 「福山城下町・神嶋町の衰退(先月の続き)・蘭町 -」 ◆12月12日(土) 午前9時45分～ ◆福山市民参画センター ◆講師 高木康彦(当部会長) ◆内容 「福山城下町人町・中町・醫者町・奈良屋町・大工町ほか -」 ※参加費無料。但し一般の方は100 円が必要です。 11月は場所 が変更です。 お間違えな ように！

古文書講座 「古文書入門」

初回のみ

**要
申込**



12月は日時が変更です。
お間違えなきように！
講座終了後
プチ忘年会開催！

◆11月27日(第4金) 午後7時～
◆場所 福山市民参画センター
【内容】「河本家文書」

◆12月20日(第3日) 午前10時～
◆場所 福山市民参画センター
【内容】「河本家文書」

※参加費無料。
但し新しいテキスト(古文書)に入る時、
テキスト代が必要となります。
(300円～500円程度)

会報 187 号原稿募集！

12月発行の会報 187 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。11月16日(月)までに事務局編集部まで。規定は16文字×120行。(論文・論考は16文字×244行程度)

史 備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>